

令和4年度
地球にやさしい“ふくしま”県民会議
県中地方会議

令和4年8月9日
事務局(福島県県中地方振興局)



令和3年度取組実績



令和3年度の主な取組

<主催事業>

- ◆「福島議定書」事業

- ◆環境イベント開催

NEW

<県事業への協力>

- ◆みんなでエコチャレンジ
- ◆事業者向け省エネ対策推進事業
- ◆未来を創る子どもたちの省エネ意識向上事業
- ◆地球にやさしいふくしまライフスタイル普及啓発事業
- ◆ライトダウンキャンペーン・クールアースデー
- ◆食品ロス削減推進事業
- ◆再生可能エネルギー普及啓発事業
- ◆省エネルギー住宅改修補助事業

- ◆地球温暖化対策ポータルサイト構築
- ◆福島県環境アプリ

NEW

地方会議の活動

- ◆普及啓発活動
- ◆環境保全活動への参加





令和3年度県中地方会議 取組実績について

○地球にやさしい“ふくしま”県民会議県中地方会議 開催

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、リモート会議により開催した。
- ・開催日時: 令和3年9月7日(火) 10時00分～12時00分
- ・会議内容
 - ①令和2年度取組実績報告
 - ②令和3年度事業計画(案)
- ・19団体にご出席いただき、各構成団体における取組の実施や県が実施する各種事業への参加の呼びかけを行った。また、欠席団体においても資料を配付し、同様に呼びかけた。

○地球温暖化防止に関する講演

- ・県中地方会議にあわせて開催
- ・講演 「SDGs入門編 『サステナブル』を考える」
講師: 東北パートナーシップオフィス(EPO東北)
東北地方ESD活動支援センター チーフ 鈴木美紀子



令和3年度県中地方会議 取組実績について

○各団体の取組について

(配付資料「地球にやさしい“ふくしま”県民会議県中地方会議構成員における取組状況」参照)

・節電の実施

昼休みや必要箇所以外の照明の消灯

クールビズ・ウォームビズ等エアコンの稼働抑制(温度調節、時間短縮)

・使用燃料の削減

電動車の導入、エコドライブの推進

・ゼロエミッション、資源の再利用

両面印刷の推進、裏面再利用

会議資料や文書のペーパーレス化

・食べ残しを減らすプロジェクトの推進

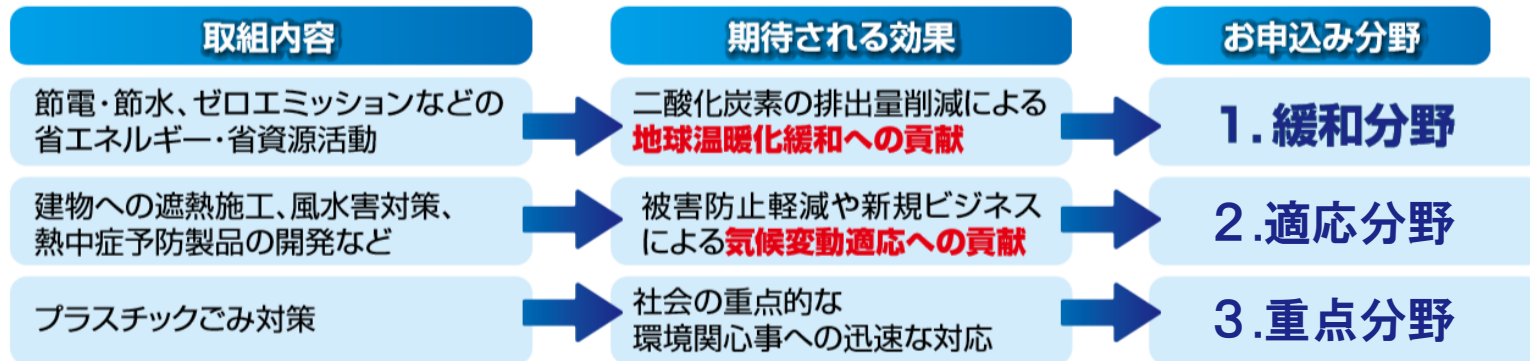
など



「福島議定書」事業

概要

事業所・学校等が、自ら二酸化炭素排出量削減等の削減目標を定め、知事と議定書を取り交わし、自主的に省エネ・省資源に取り組む事業。排出量の削減状況や工夫を凝らした活動等の実績を踏まえ、優秀な取組について表彰。



「福島議定書」事業参加のメリット

エコドライブ・省エネのアドバイザー無料派遣が利用できます！	省エネ設備の設置等を補助する県の制度に応募できます！
参加事業所として県が広報します！ (イベント・広報)	優良な取組事業所を表彰します！ (毎年2月)



優秀事業者の取組のポスター展示

福島議定書 (従来編)

わたしたちは、ふるさとの環境を守り
未来につなぐため、自ら目標を定め、
地球温暖化対策の取組を実践します。

令和 年 月 日
事業所名
代表者の役職 代表者の氏名

福島県知事 内堀雅雄 印



「福島議定書」事業

令和3年度実績

令和3年度は、**1,814事業所**の皆様に参加いただき、優秀な取組を行った**19事業所**を表彰しました。

その結果、学校版の参加校**(354校)**と合わせて、**約2,400世帯**が1年間に排出する量に相当する**約9,500t**の二酸化炭素を削減することができました。

● 受賞団体一覧 ●

令和3年度従来編	部門	事業所名
最優秀賞	オフィス・店舗等	福島テレビ株式会社
	製造業等	アルパインマニュファクチャリング株式会社
	運輸・設備業・その他	山木工業株式会社
優秀賞	オフィス・店舗等	生活協同組合 コープあいづ
	製造業等	株式会社勿来製作所
	運輸・設備業・その他	佐藤工業株式会社
団体部門賞		大槻電設工業株式会社
分野賞	緩和	大槻商事株式会社
		郡山女子大学 郡山女子大学短期大学部
	適応	株式会社シーズ
		富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 福島支社
	重点	株式会社福島中央テレビ
奨励賞		株式会社東日路政コンサルタント
		ひまわり信用金庫
		東レフィルム加工株式会社 福島工場
		株式会社小野中村
令和2年度上級編	事業所名	
最優秀賞	株式会社クレハ いわき事業所	
優秀賞	NECプラットフォームズ株式会社 福島事業所	
入賞	日立Astemoハイキャスト株式会社 福島工場	

※上級編は取組期間が1年間であるため、取組年度の翌年に表彰を実施



令和3年度の表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりましたが、学校版最優秀賞受賞小学校2校（会津若松市立小金井小学校、只見町立朝日小学校）にオンラインで取組事例を発表していただきました。



「みんなでエコチャレンジ」

概要

手軽に出来る「福島エコ道」の実践や電気使用量の確認等を通して、家庭での省エネ・省資源に取り組む事業。

令和3年度実績

令和3年度は、**4,525世帯**に参加していただき、**約1,655t**の二酸化炭素を削減することができました。

これは、**約417世帯**の1年間の二酸化炭素排出量に相当し、**森林の木約19万本**の二酸化炭素吸収量に相当します。

- 1 早寝・早起き・家族団らん(同じ部屋で照明を共有)を心がけ、使わない部屋の照明はこまめに消す。
- 2 食器を洗うときは温度設定を低めにし、夏場はお湯の使用を控える。
- 3 トイレの便座は、使用しないときはフタを開める。
- 4 冷蔵庫を開けている時間を短くし、物を詰め込み過ぎない。
- 5 水道やシャワーはこまめに止める。
- 6 室温は夏は28°C、冬は20°Cを目安にし、冷暖房は必要な時だけつける。
- 7 間隔を開けずに入浴する。
- 8 車を運転するときは、エコドライブを実践する。(ふんわりアクセル「eスタート」、加減速の少ない運転、早めのアクセルオフ、アイドリングストップなど)
- 9 ①物を大切に使いゴミを減らす(リデュース)、②繰り返し使う(リユース)、③資源として再利用する(リサイクル)といった3R(スリーアール)を心がける。
- 10 お買い物をするときは、環境のことを考えて商品を選ぶ。
(地元の旬の食材(輸送エネルギーが少ない)、エコマーク等がついた商品など)

令和3年度「ふくしまエコ道」

ペンネーム	エコ川柳
エコロジスタ	こっちな 環境いい方 エコひいき
あひる	節電が みんなの地球(ほし)の 解熱剤
リョウ	おいしいな 地産地消で エコ習慣
ノブ	我が息子 エコに取り組む ええこやな
虎太郎	エコしよう あなたの意思は エコ仕様
エコロジイ	フードロス 減らして増える 俺の腹
あいめい	「エコな方！」令和時代の 選択肢
ママ	要りません 袋と過剰な 包装は
エコーブact3	省エネと 再エネ合わせて 脱炭素
「ふくり」	「温暖化」未来の責任 わたしから

令和3年度エコ川柳入選作品



事業者向け省エネ対策推進事業

概要

地域ぐるみで省エネを推進するため、県内の中小企業を対象に省エネ設備の導入・改修に係る費用の一部を助成。

要件等

- ◆補助対象設備
高効率照明（LED照明）、高効率空調、
電気冷蔵庫、電気冷凍庫、
BEMS（ビル・エネルギーマネジメントシステム）
- ◆補助率
1 / 3以内
- ◆補助額
上限額：80万（BEMS併設は100万円）
※補助率・補助額は一定の要件での優遇制度あり
- ◆要件
 - ・「福島議定書」事業への参加（2年間）
 - ・「みんなでエコチャレンジ」事業への協力（2年間）
 - ・省エネアドバイザーの診断の受診 など

令和3年度実績

◆補助件数：45件

約296トンの
二酸化炭素を削減
(約75世帯の1年分の
排出量相当)





未来を創る子どもたちの省エネ意識向上事業

概要

環境への負荷を低減するライフスタイルへの転換を促進するため、子どもたちに環境保全に関する意識啓発活動を行うとともに、児童・生徒を通して、家庭や地域における省資源・省エネルギーの意識醸成を図る。

令和3年度実績

エコ七夕事業



- ◆対象：幼稚園、保育園、子ども園向け
- ◆内容：環境啓発を目的とした紙芝居の読み聞かせ、エコについての思いを記入した短冊の飾り付け

参加園数
106園

環境活動 スタート事業



- ◆対象：中学生～高校生向け
- ◆内容：専門家等の派遣、地球温暖化による環境変化等についての講演

講師派遣回数
10回



未来を創る子どもたちの省エネ意識向上事業

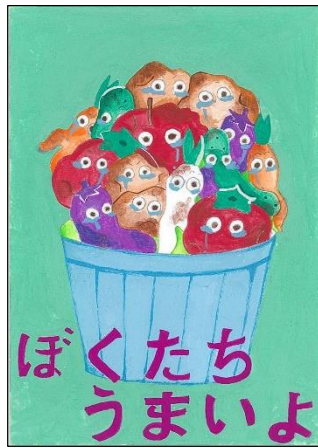
令和3年度実績

ふくしまエコライフ絵はがきコンテスト事業

応募作品数
3,072点



最優秀賞(県知事)受賞作品の例



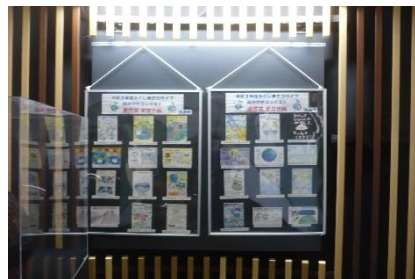
県教育長賞受賞作品の例



受賞作品を掲載したカレンダーを作成



- ◆対象：小学生～高校生向け
- ◆内容：地球にやさしい生活をテーマにした絵はがきの募集、優秀な作品の表彰
- ◆展示：県立博物館等（7会場）





地球にやさしいふくしまライフスタイル普及啓発事業

概要

廃棄物の減量化や再利用・再資源化、省エネルギー、省資源など、地球にやさしいライフスタイルの普及を促進する

令和3年度実績

マイバッグ促進普及事業

協力店
2,256店舗

- ◆内容：
容器包装の代表例であるレジ袋削減を推進するため、「マイバッグ推進デー協力店」の拡大を図るとともに、街頭啓発等を実施



マイボトル・マイカップ推進事業

連携店
265店舗

- ◆内容：
マイボトル・マイカップの取組を推進し、プラスチックごみ削減のキャンペーンを展開





ライトダウンキャンペーン・クールアースデー

概要

6月21日（月）【夏至】から7月7日（水）【クールアース・デー】まで、県庁内の執務室や廊下・ホール等で可能な範囲での時間外消灯を実施。最終日である**7月7日（水）【クールアース・デー】に県庁一斉消灯**を実施。

令和3年度実績



【県庁】消灯前



【県庁】一斉消灯

20時から20時30分までの**30分間の消灯**で約**400kgの二酸化炭素を削減**しました。



ふくしまゼロカーボンDAY！ NEW

県民の皆さんが「未来のために 今やろう」のスローガンを実感しながら、地球温暖化対策を身近に感じて、具体的な取組を実践するきっかけとしていただくため、地球温暖化対策の啓発イベント「ふくしまゼロカーボンDAY！」を開催しました。

当日は約**2,400名**の方にお越しいただきました。

- <日時> 令和3年11月27日（土曜日）
10時00分～16時00分
- <会場> ビッグパレットふくしま（郡山市）
- <主催> 地球にやさしい“ふくしま”県民会議、福島県
- <共催> 環境省

- ステージイベント
（基調講演、おひろめセレモニー、トークセッション など）
- 体験型アトラクション
（水素カート試乗会、電動自動車モデルカー実験 など）
- 展示・体験ブース
（60団体・企業・学校が特色あるブースを出展）
- サステナブルキッチン
（県産食材を使用したキッチンカーを出展）



ステージイベント
「地球にやさしい“ふくしま”宣言」おひろめセレモニー
地球にやさしい“ふくしま”県民会議 渡邊 明 代表
/タレント 井上 咲楽 さん/内堀県知事

2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、県民総ぐるみの地球温暖化対策を一層盛り上げていくため、令和3年6月に決定した宣言、ロゴマーク、スローガンを改めてお披露目しました！

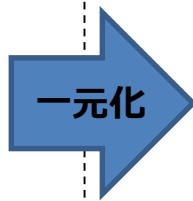
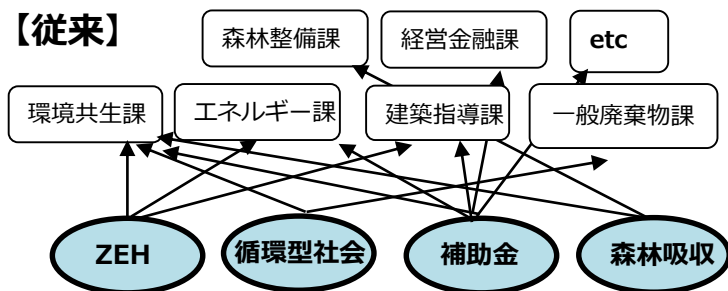


福島県地球温暖化対策ポータル

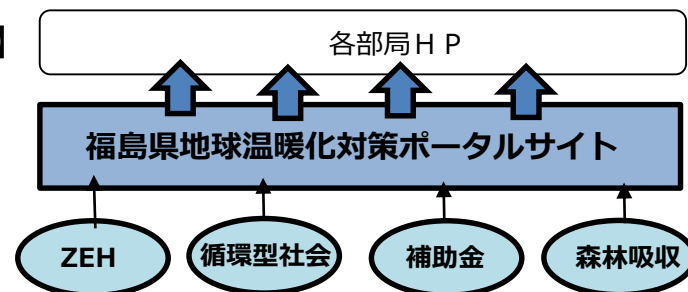
NEW

本県の温暖化対策に関する取組や補助制度、優良事例などをまとめた統一的なポータルサイトを構築【令和4年1月から公開】

【従来】



【新規】



福島県地球温暖化対策ポータル



福島県地球温暖化ポータル トップページ





福島県環境アプリ

NEW

ごみ減量化、省エネルギー対策に向けた取組として、スマートフォン用のアプリを開発し、令和3年4月から本格運用を開始。【令和3年度末 **6,685ダウンロード**】

アプリの4つの特徴

1

**トップ画面が
ごみ収集カレンダー！**

新生活を始めた人に
オススメ

お住まいの地域の
カレンダーを表示。
収集日の通知機能も
あるよ。
ごみ分別辞典では分
別方法がわかるよ。



福島県ごみ減量化・リサイクル推進
マスコットキャラクター「リーフィングル」

2

**毎日のエコ活動で
ポイント獲得！**

食べ残しゼロ、こまめにスイッチオフ
など身近な取り組みでポイントを得
てきます。



投稿すると
10ptもらえる！

3

**県産品等の抽選に
応募できる！**

貯まったポイントで、福島県産品やエコ
グッズなどが当たる抽選に応募でき
ます。



当たり・はずれが
すぐにわかる！

4

**投稿・エコ情報を
参考にできる！**

みんなの投稿やエコ情報を参考に、さら
にエコ活動に取り組みましょう。



わたしも真似して
取り組んで
みようかな！

福島県



まずはダウンロード！

福島県環境アプリ



App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう





食品ロス削減推進事業

概要

まだ食べられるのに捨てられている食品 = 食品ロスを減らすため、「もったいない！食べ残しゼロ推進運動」を実施し、普及啓発活動を展開。

令和3年度実績

食べ残しゼロ協力店・事業所登録事業

登録数
601店舗

- ◆対象 県内の飲食店、食料品小売店など
- ◆主な認定要件（2つ以上実践）
 - 飲食店・宿泊施設の場合
 - ・食べ残しゼロの呼び掛けの実践
 - ・食材の仕入れ、使い切りの工夫
 - ・持ち帰り希望者への対応 など
 - 食料品小売店等の場合
 - ・消費期限等が近い商品の値引き販売
 - ・ばら売り、量り売り等による販売
 - ・閉店間際等の値引き販売 など

食べ残しゼロ協力店・事業所取組支援事業

配布数
13,850個

- ◆内容 県主催のドギーバッグデザインコンテストで、最優秀賞を受賞したデザインの持ち帰り容器を協力店に配布



令和3年度最優秀賞受賞作品



住宅用太陽光設備等設置補助事業

概要

一般家庭における再生可能エネルギー設備の導入を支援するため、太陽光パネル、蓄電池の設置等にかかる初期投資費用を軽減する

要件等

◆補助対象設備

- ①太陽光発電
 - ②蓄電池／電気自動車充給電設備（V2H）
- ※それぞれに要件あり

◆補助額

- ①太陽光発電
最大16万円 ※4万円/kW（4kW分まで）
- ②蓄電池／V2H
次のうちどちらかを選択
蓄電池：最大20万円 ※4万円/kWh（5kWh分まで）
V2H：定額（上限10万円）



令和3年度実績

◆補助件数

- ①太陽光発電：2,292件
- ②蓄電池：380件
- V2H：3件



省エネルギー住宅改修補助事業

概要

住宅の省エネルギー化を促進するため、既存戸建住宅の断熱改修に対して補助金を交付。

補助額

- ◆補助対象
県内既存戸建住宅の断熱改修に係る経費
- ◆補助額（工事費の1/2以内）
 - ①補助率1/2
上限120万円（寒冷地は150万円）
 - ②補助率1/3
上限 80万円（寒冷地は100万円）※補助率は改修内容により変わる

令和3年度実績

- ◆補助件数： **95件**





令和4年度事業計画 (案)



令和4年度の主な取組

<主催事業>

- ◆「ふくしまゼロカーボン宣言」事業
- ◆環境イベント開催

福島議定書事業を
リニューアル!

<県事業への協力>

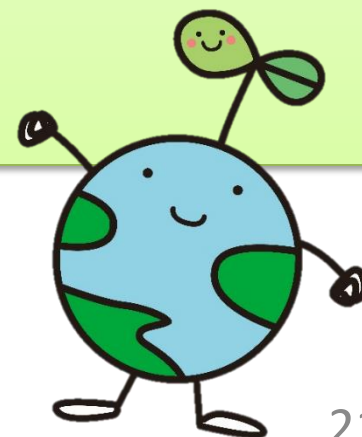
- ◆みんなでエコチャレンジ
- ◆事業者向け省エネ対策推進事業
- ◆未来を創る子どもたちの省エネ意識向上事業
- ◆地球にやさしいふくしまライフスタイル普及啓発事業 など

- ◆福島県電気自動車導入推進事業
- ◆ネット・ゼロ・エネルギーハウス推進事業
- ◆ロードマップ普及啓発推進事業

NEW

地方会議の活動

- ◆普及啓発活動
- ◆環境保全活動への参加





令和4年度県中地方会議 事業計画について

○地球にやさしい“ふくしま”県民会議県中地方会議 開催

- ・開催日時: 令和4年8月9日(火) 13時00分～15時30分
- ・福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」 学習室A
- ・会議内容
 - ①令和3年度取組実績報告
 - ②令和4年度事業計画(案)

○地球温暖化問題に関するワークショップ

- ・県中地方会議にあわせて開催
- ・ワークショップ 「『未来を創る』コミュタン福島で学ぶSDGs
～SDGsと地球温暖化～」
ファシリテーター: コミュタン福島スタッフ



令和4年度県中地方会議 事業計画について

○各団体の取組について

(配付資料「地球にやさしい“ふくしま”県民会議県中地方会議構成員における取組状況」参照)

R3年度の取組を引き続き実施するという回答が多かったが、新たな取組を追加して行う団体もあった。

- ・温暖化対策の取組意識向上のための工夫
省エネのための取り組み等の研修会の実施
空調設備の運用方法等を検討する機関の設置
地球温暖化対策実行計画の強化
- ・マイバッグ、マイボトル、マイカップの推進

など



「ふくしまゼロカーボン宣言」事業 (旧福島議定書事業)

2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、学校や事業所が「ゼロカーボン」を目指し取り組むことを宣言し、自ら地球温暖化対策を実施する事業で、旧「福島議定書」事業をリニューアルしたものです。

ゼロカーボン宣言書▶

ふくしまゼロカーボン宣言書 上級編

利点としては、2050年までの脱炭素社会の実現を目標とし、以下の取組を実施することを宣言します

- 地球温暖化を緩和するため、二酸化炭素の排出削減に力を入れ、省資源・省エネルギーの取組等を実施します
- 気候変動に対応するため、気中濃度の削減の防止・削減取組等を実施します
- 社会的に関心度の高い環境に関する事項である「プラスチックごみ対策」「食品ロス対策」を実施します

参加事業所名 _____
 代表者役職 _____
 代表者氏名 _____

上記の事業所が「ふくしまゼロカーボン宣言」をしたことを証明します
 令和4年 月 日
 福島県知事 内堀 雅雄

福島県知事 内堀 雅雄

申込期限 令和4年10月31日 (月)

「ふくしまゼロカーボン宣言」事業参加のメリット	
エコドライブ・省エネのアドバイザー無料派遣が利用できます！	省エネ設備の設置等を補助する県の制度に応募できます！
参加事業所として県が広報します！ (イベント・広報)	脱炭素セミナーの案内等お得な情報をメールマガジンで配信します



福島議定書事業からの主な変更点 (事業所版)

- ✓ 県が提示した取組メニューから選択するだけで参加でき、はじめてでも地球温暖化対策に取り組みやすい「初級編」を創設しました。従来の福島議定書の内容を承継した「中級編 (旧従来編)」「上級編」の3コースから選んで参加できます。
- ✓ 取組期間を一年間とし、前年度の二酸化炭素排出量と比較することとしました。
- ✓ 翌年度の環境イベントで表彰式&取組事例発表を実施します。



「みんなでエコチャレンジ」事業

応募期間 令和4年7月1日（金）～9月30日（金）

温室効果ガス総排出量の約5分の1を占める家庭部門における排出削減の推進のため、家庭でできる省エネ・省資源活動をまとめた「福島エコ道」の実践やエコ川柳の投稿などを通して、家庭での省エネの取組意欲の向上を図る事業です。

応募はがき、県ホームページの入力フォーム、**福島県環境アプリ**から応募できます。



福島エコ道の実践

- 1 早寝・早起き・家族団らん(同じ部屋で照明を共有)を心がけ、使わない部屋の照明はこまめに消す。
- 2 食器を洗うときは温度設定を低めにし、夏場はお湯の使用を控える。
- 3 トイレの便座は、使用しないときはフタを開める。
- 4 冷蔵庫を開けている時間を短くし、物を詰め込み過ぎない。
- 5 水道やシャワーはこまめに止める。
- 6 テレビの画面は明るすぎないように、見ないときは消す。ゲームを終えたらモニタを消す。
- 7 室温は夏は28℃、冬は20℃を目安にし、冷暖房は必要な時だけつける。
- 8 間隔をあけずに入浴する。
- 9 車を運転するときは、エコドライブを実践する。(ふんわりアクセル(スタート・加速の少ない運転)、早めのアクセルオフ、アイドリングストップなど)
- 10 ①物を大切に使いゴミを減らす(リデュース) ②繰り返し使う(リユース)、③資源として再利用する(リサイクル)といった3R(スリーアール)を心がける。
- 11 お買い物をするときは、環境のことを考えて商品を選ぶ。(元々の物の素材(輸送エネルギーが少なく)、エコマーク等がついた商品など)

(出典:資源エネルギー庁省エネポータルサイト他)



今年度の強化ポイント

- ✓ より参加しやすく効果のある取組になるよう、「福島エコ道」を見直しました。
- ✓ 従来の二酸化炭素排出量1%削減を目指して福島エコ道に取り組み「レギュラー編」に加え、3%削減を目指し独自の取組を考えるなどより意欲的に取り組む「チャレンジ編」を新設しました。

福島県

まずはダウンロード!

福島県環境アプリ



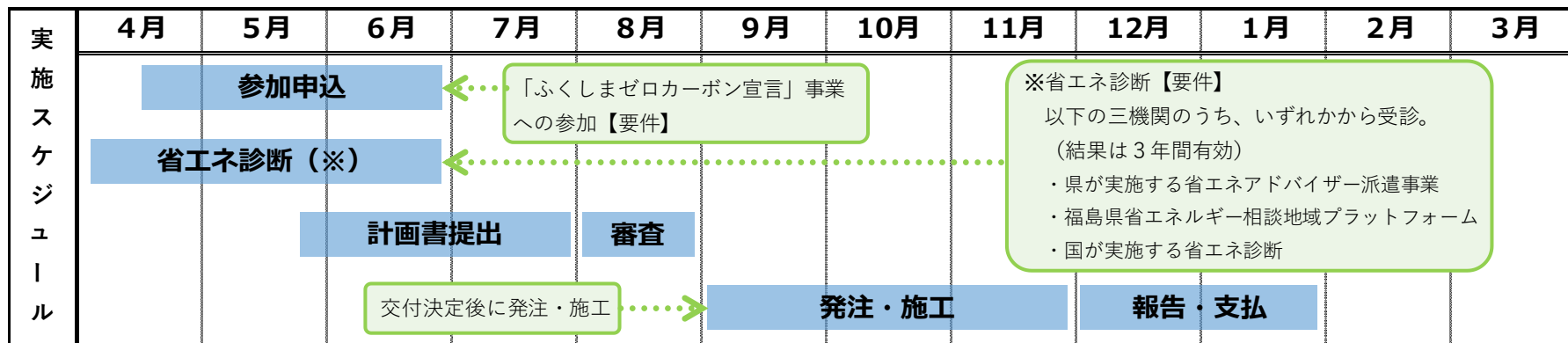
事業者向け省エネ対策推進事業

県内の中小企業等を対象に省エネ設備の改修等に係る費用の一部を助成します。

申込期限 令和4年7月29日(金)

- ◆補助対象設備
高効率照明(LED照明)、高効率空調、BEMS(ビル・エネルギー・マネジメントシステム)、電気冷蔵庫・電気冷凍庫
- ◆補助率
1/3以内

- ◆補助額
上限額: 80万 (BEMS併設は100万円)
※補助率・補助額は一定の要件での優遇制度あり
- ◆要件
 - ・「ふくしまゼロカーボン宣言」事業への参加
 - ・「みんなでエコチャレンジ」事業への協力
 - ・省エネアドバイザーの診断の受診 など



★今年度の受付窓口は「一般財団法人ふくしま建築住宅センター」となっています

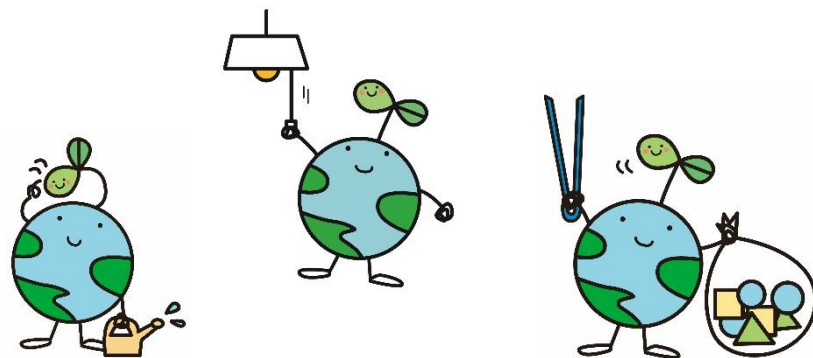


未来を創る子どもたちの省エネ意識向上事業

環境への負荷を低減するライフスタイルへの転換を促進するため、子どもたちに環境保全に関する意識啓発活動を行うとともに、児童・生徒を通して家庭や地域における省資源・省エネルギーの意識醸成を図ります。

エコ七夕事業

- ◆対象：幼稚園、保育園、子ども園向け
- ◆内容：環境啓発を目的とした紙芝居の読み聞かせ、エコについての思いを記入した短冊の飾り付け



ふくしまエコライフ 絵はがきコンテスト事業

- ◆対象：小学生～高校生向け
- ◆内容：地球にやさしい生活をテーマにした絵はがきの募集、優秀な作品の表彰

環境活動スタート事業

- ◆対象：小学生～高校生向け
- ◆内容：専門家等の派遣、地球温暖化による環境変化等についての講演



令和4年度 福島ライトダウンチャレンジ

NEW

エネルギー需要が増大する夏季に、省エネルギー意識の一層の向上を図るため、**県民や事業者と連携して消灯に取り組む「福島ライトダウンチャレンジ」**を実施します。

◆ 目的

日常生活の中で照明がいかに使用されているかを実感いただくことにより、省エネや温室効果ガス排出削減の必要性について意識醸成を図る

◆ 参加者

取組に賛同し、ともに取り組んでいただける企業、団体、家庭

◆ 取組内容 ⇒ 一斉消灯

【実施日】 **令和4年7月7日（木）**

【時 間】 **20時から22時まで**

※ 時間を早めて実施いただくことも可能

【対 象】 **各施設の不要な照明、ライトアップした看板の消灯 など**
(施設内の一部消灯でも参加が可能)

◆ 取組公表 ⇒ 県ホームページに掲出

【内 容】 ライトダウンフォト（消灯した様子の分かる写真）、電気使用量削減量





「REIFふくしま2022 × ふくしまゼロカーボンDAY！ 2022」

省エネ・省資源や再生可能エネルギー・水素など、環境とエネルギーに関する最新技術や製品に関する情報発信、取組事例の紹介、交流・体験・商談の機会の提供を通じて、**地球温暖化対策の全県的な機運の醸成**とともに、**環境と経済の好循環**を図ります。

○会場：ビッグパレットふくしま（郡山市）

○主催：福島県、（公財）福島県産業振興センター、地球にやさしい“ふくしま”県民会議

10月13日(木)・10月14日(金) 主に **BtoB** 向け

ビジネスマッチングの促進・新たなビジネスの創出・課題ソリューションの場



企業等
来場者

- 製品・技術、取組等の情報交換
- 製品・技術導入等に関する相談
- 新たな連携先、製品・技術の発掘
- プレゼンテーションによるPR



出展者様

10月15日(土) 主に **BtoC**、**一般**向け

カーボンニュートラル実現に向けた機運醸成・実践拡大



一般
来場者

- 省エネ・省資源、再エネ・水素等に関する取組や最新技術の紹介・PR
- 地球温暖化対策に関する理解促進、興味・関心の喚起

環境とエネルギーに関する最新技術・製品・取組に関する展示・商談・交流・情報発信（地球温暖化対策、再生可能エネルギー・水素、省エネルギー・省資源・リサイクル等）

- 関連分野の理解促進・国内外の最新動向に関する各種講演・セミナー
- 関連分野に関するビジネスマッチング、海外連携先企業等とのビジネスマッチングの機会提供

- 地球温暖化対策等の理解促進に向けた各種講演・ステージイベント
- 楽しみながら学べる体験型アトラクションやワークショップの実施

オール福島で“2050年カーボンニュートラル”“再エネ先駆けの地”の実現に向けた取組を加速！



皆様お誘いあわせの上、ぜひ御来場ください！



福島県電気自動車導入推進事業

NEW

◇電気自動車の購入に係る費用の一部を助成します。

申込期限 令和5年2月28日(火)

◆補助対象者

- (1) 県内の個人
(直近の都道府県民税の所得割額が172,600円以下であること)
- (2) 県内の中小企業等(リース事業者含む)

◆補助対象車両

- ・令和4年4月1日以降に初度登録されていること
- ・自動車検査証における使用の本拠の位置が県内であること

◆補助額

上限20万円(定額)



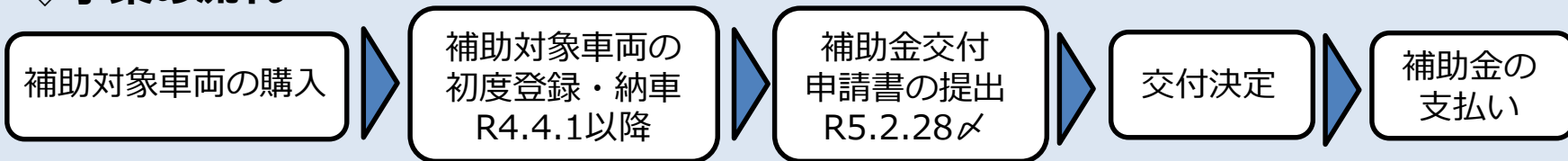
◆要件

- ・電気自動車の購入と併せて、自宅又は事業所に充電設備を設置すること
- ・電気自動車のPRに協力すること 等

◆問合せ・応募先

(一社)福島県再生可能エネルギー推進センター
TEL: 024-526-0070

◇事業の流れ



※車両登録前の申請はできません

※申請は**先着順**です。申請額が予算額を上回った場合、募集期間内でも募集を締め切ります。



ネット・ゼロ・エネルギーハウス推進事業

NEW

◇ ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) の購入に係る費用の一部を助成します。

申込期限 令和4年7月29日 (金)

◆ 補助対象者

- (1) 県内でZEHを建築する方
- (2) 県内で新築住宅のZEHを購入する方

◆ 補助対象設備

- ・ 高断熱外皮
- ・ 浴室ユニット
- ・ 給湯設備
- ・ 換気設備
- ・ エネルギー計測装置 (HEMS)
- ・ 断熱仕様のドア
- ・ 空調設備
- ・ 照明設備

◆ 補助額

上限40万円 (定額)

※補助対象経費に1/2を乗じた額が補助額を上回る必要があります。

◆ 要件

- ・ 直近の都道府県民税の所得割額が172,600円以下であること
- ・ ZEHのPRに協力すること 等

◆ 問合せ・応募先

(一財) Fukushima Building Housing Center
TEL : 024-526-0070



◇ 事業の流れ

補助金スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業の着手 (R4.4.1以降)	事業の着手 (R4.4.1以降)					事業の着手・実施・完了							
エントリーシート提出	エントリーシート提出				抽選会	申請書提出	交付決定	完了実績報告書の提出					交付



ロードマップ普及啓発推進事業

NEW

ロードマップとは？

「福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ」（令和4年5月公表）

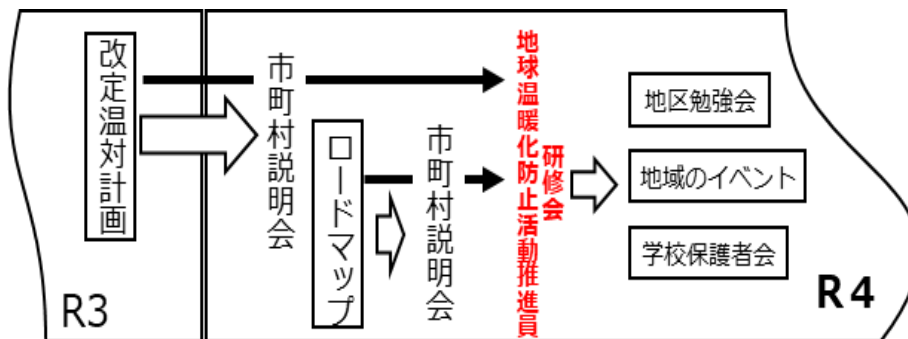
「2050年カーボンニュートラル」の実現のために、各部門（産業部門、運輸部門、業務部門、家庭部門）ごとの課題・削減目標・対策をまとめ、実現までのプロセスを示したもの。

事業概要

- ✓ パンフレットの作成、配布
- ✓ 研修会の実施

皆様へのお願い

各部門の内容について承知いただき、地球温暖化対策に活動いただく方々のご協力が必要であることを伝えていただきたい。**ロードマップについての普及啓発に御協力いただきたい。**



普及啓発計画イメージ



食品ロス削減推進事業

食品ロスを減らすため、「もったいない！食べ残しゼロ推進運動」を実施し、普及啓発活動を展開します。

合い言葉「すべてに感謝！食べ残しゼロ」

福島県「食べ残しゼロ協力店・事業所」を募集しています！

主な認定要件

※認定の対象は、福島県内で営業する飲食店、宿泊施設、食料品小売店等です。

飲食店・宿泊施設

- 食べ残しゼロのための呼びかけの実践
- 食材の仕入れまたは使い切りの工夫
- 来客者の希望に応じた量の調整
- ハーフサイズ等小盛りメニューの設定
- 持ち帰り希望者への対応
- その他の食品ロス削減につながる取組

食料品小売店等

- 食材の仕入れまたは使い切りの工夫
- 閉店間際等の値引き販売
- ばら売り、量り売り、少量パックによる販売
- 賞味期限・消費期限が近い商品の値引き販売
- 賞味期限・消費期限に関する啓発
- その他の食品ロス削減につながる取組

上記取組を2つ以上実践している飲食店・宿泊施設・食料品小売店等を店舗ごとに「食べ残しゼロ協力店」として認定します。

メリット

- ★ 認定証(木製)、認定ステッカー、啓発ポスター等の提供
- ★ 県ホームページで取組などの情報をPR
- ★ お客様へのイメージアップ
- ★ 持ち帰り容器の配布

認定証
(木製)



認定
ステッカー



「リーフィングル」
(福島県ごみ減量化・リサイクル推進
マスコットキャラクター)



主な県民・事業者向け地球温暖化対策支援事業

補助

○ 省エネルギー住宅改修補助事業 [建築指導課]

- ・ 住宅の省エネルギー化を促進するため、既存戸建住宅の断熱改修を支援



○ 再生可能エネルギー地産地消支援事業

(地域分散型電源導入支援) [エネルギー課]

- ・ 住宅用太陽光や自家消費型の再生可能エネルギー利用設備（太陽光発電、太陽熱利用、バイオマス利用設備など）の導入による自立・分散型のエネルギーシステム構築を支援



○ 脱炭素社会の実現に向けた水素利用推進事業 [エネルギー課]

- ・ 「水素社会実現のモデル構築」に向けて、水素ステーションの整備、燃料電池自動車の導入等を推進



融資

○ 環境創造資金融資事業 [環境共生課]

- ・ 環境保全対策に取り組む中小企業者等を支援するため、必要な資金を融資



○ ふくしま産業育成資金(成長産業枠) [経営金融課]

- ・ 環境産業・再生可能エネルギー関連産業など、今後の発展が見込まれる産業を育成・支援するため、県内金融機関を通じて融資

「福島県地球温暖化対策ポータルサイト」をご覧ください！

本県の地球温暖化対策に関する取組や補助制度、優良事例などを一元的に確認できます。

